



『砂防見学会』開催される！

6月は最も雨の多い時期「梅雨」ということもあり「土砂災害防止月間」となっています。今回のくろゆり通信は、砂防事業についての知識を少しでも理解していただくための一環として行われた「砂防見学会」の様子を報告させていただきます。去る、6月1日に大鹿小学校4年生が砂防見学会に参加しました。好天に恵まれ砂防堰堤の見学、砂防についての学習・小渋川へのかじかの放流・桜の記念植樹を体験しました。通常とは違った授業に興味深く、熱心な4年生5名の姿を報告させていただきます。小渋川砂防安全協議会（シブキヤ建設㈱・大協建設㈱）からもこの見学会のお手伝いをさせていただきました。

オオヤマザクラの記念植樹



小渋川砂防ステーション



上蔵砂防堰堤見学



青木川・小渋川合流部でのかじか放流



《菅沼 祐香さん》
さぼうだむの見学あと、きれいな川にかじかをながしました。ながしたらすいすい泳ぐかじかと、すみの方にかたまるかじかがありました。かじかはかわいいなあ。きれいな川でもっとふえたらいいなと思いました。

《篠元 真人くん》
直けい15mの岩が流されたけど、さぼうだむのおかげでその岩も止めちゃうんだと思いました。ぼくたちのためにがんばって工事してくれるんだなあありがたいと思いました。

《木間 恵理奈さん》
さぼうだむの見学でうれしかったのは人の入らないだむのアーチのところが見れたことです。かじかを1びきずつはなす時、つかまえようとしたら、するつとにげていきました。元気にそだってね！！

4年生の皆さん、担任の先生より感想をいただきました！！

《阪村 明希子さん》
さぼうだむの見学をして「さぼうだむはみんなの命をまもってくれるんだな。」と思いました。工事をする人は、しぜんのこともたくさん考えて、工事をやってくれてとってもうれしいです。ありがとうございました。

《伊波 瑠奈さん》
砂防だむの見学と後に川の横で話を聞いた。私たちの安全を考えて山がくずれないように工事をしていている人たちがたくさんいることを知った。私は「命がけでがんばっているなんてすごいな。いてくれてよかった。」と思った。

《担任 片瀬先生》
砂防だむの見学や説明、かじかの放流、桜の植樹と半日間大変貴重な体験をさせていただきました。私たちの気付かないところで安全を守るためにたくさんの方々の努力があることを知る良い学習ができました。国土交通省、工事関係者のみなさんありがとうございました。



【参加者全員での記念撮影】

平成17年度 天竜川水系 七釜第2砂防堰堤工事用道路工事



大鹿村の市街より20分ほどの釜沢地先において砂防堰堤工事用道路の工事を行っております。この工事ではRCネット工（覆式）という新技術の落石防止網工、法面工、落石防護柵、舗装工の工事を行っております。作業ヤードも狭く、いつ落石があるかわからない非常に危険な場所での工事ではありますが、安全を一番に考えて進めていきたいと思っております。

シブキヤ建設株式会社
現場代理人 宮下篤史

【本社】0265-36-2222
【現場事務所】0265-39-1057